

倒壊した山門 (大田中組 龍善寺)



全壊した鐘楼 (大田東組 立善寺)



— 島根県西部地震 —



編集 御同朋の社会をめざす運動
 山陰教区委員会
 発行 山陰教区 教務所
 〒690-0002 松江市大正町四四三ノ一
 本願寺山陰教室
 TEL 〇八五二 〇四七四七
 FAX 〇八五二 〇八三五一
 発行者 高橋 格 昭

水に浸り、運び出された家具類 (江津市桜江町)



水が引き、道路に残る土砂 (江津市桜江町)



— 平成三十年七月豪雨 —

この度の「島根県西部地震」並びに「平成三十年七月豪雨」により被災された皆様にお見舞い申しあげます。

お見舞い

山陰教区教務所長 高橋格昭

本年四月に発生した「島根県西部地震」、並びに七月の「平成三十年七月豪雨」により被災された皆様に、衷心よりお見舞い申しあげます。また、七月の豪雨災害では多くの方がお亡くなりになられました。謹んで哀悼の意を表します。

島根県大田市を震源とし最大震度五強を記録した「島根県西部地震」により、ご寺院の建物やご門徒のご自宅などに被害が発生しました。被災された皆さまには、教区からのお見舞金と教区内外からお寄せいただいた義捐金を、八月に組長様を通してお渡しさせていただきます。

また、「平成三十年七月豪雨」により、中・四国地方を中心に西日本で大きな被害が発生しま

した。山陰教区におきましては、害義捐金のお願いと、ボランティアの川沿岸部を中心に、ご寺院・ご門徒の浸水被害などが発生し、近隣の教区におきましても各地で甚大な被害が発生しました。宗派・教区として被災者の皆さまに対する支援活動として、災

害義捐金のお願いと、ボランティア活動へのご協力をお願いいさせたいです。ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

島根県西部地震の 組内状況について

大田東組 組長 松村 淳真

四月九日未明に発生した島根西部地震は大田市が震源地となり、震度五強の揺れは当地では誰も経験のないことでした。被災した家屋、寺院の多くは小規模損壊の部類でしたが、断層の筋に沿った箇所はかなりの損壊を蒙りました。

この間、本願寺・教区・県仏教会ほか早速お見舞いを戴き感謝申しあげます。

手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩

感謝



ぶつだんの

内田 稔 造 商店

・木次 0854-42-0266 ・下熊谷 0854-42-3711 ・出雲 0853-21-3253

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 **古田た佛具製作所**

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーファックス 0120-343-036

島根県西部地震について (報告)

二〇一八 (平成三十) 年七月三十日現在

本年四月九日に発生いたしました島根県西部地震で被害に遭われた皆さまに衷心よりお見舞い申しあげます。

教区における被災状況、対応につきまして次の通りご報告申しあげます。

一. 二〇一八 (平成三十) 年四月九日 (月) 深夜一時三十二分頃、地震発生 (震源地・島根県西部、マグニチュード六・一)

被害状況… 本堂一部損壊 (壁亀裂、屋根瓦崩落・ズレ、漆喰剥落等) 二十件、庫裏一部損壊 (壁亀裂、屋根瓦崩落・ズレ、梁脱落等) 十九件、附属建物 (鐘楼・山門) 全壊二件、附属建物 (経堂、蔵等) 一部損壊 (漆喰剥離、壁亀裂等) 十九件

門信徒被害… 七十三件

飯南組二十件、大田東組五十三件

二. 被災状況
寺院被害… 二十五ヶ寺

被害状況… 一部損壊 (壁亀裂、屋根瓦崩落・ズレ等)

三. 教区の対応

四月九日 (月)、未明に地震が発生したため、当日夜が明けてから、教務所長が被災寺院にお見舞いに伺いました。その後、計五回にわたり被害の大きかった地域を中心にお見舞いに伺いました。四月十日 (火) には、宗派社会部 (災害対策担当) 森田部長が同行しました。

四月十三日 (金)、教区内災害ボランティア登録者・団体に、ボランティアセンター開設の情報を案内いたしました。

四月十八日 (水)、教区災害対策委員会を開催。島根県西部地震への対応について協議を行いました。

委員会の決議に基づき、教区内全

組長様宛に義捐金の受付について依頼状を送付し、また、被災地域組長様に、教区災害見舞金申請書式について公文書を送付いたしました。

被災されたご寺院のご住職様から組長様を通して被災状況のご報告をいただいております。七月十八日 (水) 開催の災害対策委員会にて、教区災害見舞金の交付について協議が行われました。併せて、お寄せいただいた義捐金についても協議されております。

被災された皆さまへお見舞いを申しあげますとともに、今後も継続して支援活動が続けて参ります。

「島根県西部地震」・「平成三十年七月豪雨」義捐金について

四月九日に発生した「島根県西部地震」並びに「平成三十年七月豪雨」について、教区内外から当教区教務所宛に心温まる義捐金を頂戴しております。

お寄せいただいた義捐金については、被害に遭われた組へ組長様を通して送金させていただきます。

皆様のご支援、ご協力に感謝申しあげますとともに、一日も早い復興を衷心より念じます。

義捐金をお寄せいただいた方々

島根県西部地震

浄土真宗本願寺派社会部 (災害対策担当)、仏教婦人会総連盟、仏教壮年会連盟、安芸教区教務所、福岡教区教務所、佐賀教区教務所、長崎教区教務所、宮崎教区教務所、四州教区仏教婦人会連盟、山陰教区仏教婦人会連盟、山陰教区仏教婦人会連盟、鳥取伯耆組、松江組、飯南組、大田西組、佐波組、千須賀組、邑智西組、出雲南組仏教婦人会連盟、邑智東組仏教婦人会連盟、川本組鹿賀仏教婦人会、出雲南組専正寺、大田中組満行寺 (馬路)、大田中組浄宗寺、千須賀組西

二〇一八 (平成三十) 年七月三十日現在
念寺 (下口羽)、出雲組通傳寺仏教婦人会、大田中組満行寺 (天河内) 仏教婦人会 (敬称略)

平成三十年七月豪雨

松江組蓮教寺、出雲組龍善寺、神門組光林寺、神門組願楽寺、大田中組大雄寺、大田西組明円寺、千須賀組西念寺 (下口羽)、浜田組光現寺、出雲南組洗心仏教婦人会 (敬称略)

七月三十一日以降の義捐金は、次号に掲載させていただきます。

島根県西部地震の被災状況

大田東組 立善寺住職
菅本了道

地震から早や四ヶ月が過ぎました。少しずつ修理・修復が進みつつありますが、お忙しい中、教務所長様はじめ多くの方々にお見舞いをいただき、また温いお言葉を賜りまして誠にありがとうございます。心から御礼申しあげます。

拙寺の被害の様子ですが、鐘楼が全壊し、本堂にも亀裂が入りました。鐘楼の再建はまだ先のことになると思いますが、本堂の白壁の傷は段々深く広範囲になっていることもあり、早急に修理工事に入ることを先日の臨時総代会にて決定しました。真ん中の庫裡（現客殿）の屋根瓦がずれてしまい、雨漏りなど大変な状態になりましたが、おかげさまで修理が終わりました。経蔵には『危険』の赤紙が貼ってあります。漆喰工事も本堂と共に始める予定です。扉も危険な状態であり、建て直すことにしました。

ただ怪我する者もいませんでしたし、改めて当たり前の日々が幸せな毎日だと感謝しなければと思ったことです。

平成三十年七月豪雨について(経過報告)

本年七月に発生いたしました「平成三十年七月豪雨」で被害に遭われた皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。

教区における被災状況、対応について取り急ぎご報告申しあげます。
(七月三十日現在)

一・被災状況

寺院被害 三ヶ寺

江津組二ヶ寺、三隅組一ヶ寺

被害状況：本堂床下浸水、庫裏

床上浸水、庫裏床下浸水、土砂崩れによる庫裏壁亀裂

門信徒被害 九十四件

大田西組十一件、川本組三十件、邑智西組十一件、江津組四十二件

被害状況：門徒宅床上浸水、床

下浸水、附属建物・事務所等浸水

二・教区の対応

七月十日（火）、十九日（木）、教務所長、職員が被害のあった寺院へお見舞いに伺いました。

七月十七日（火）、教区内全組長様宛に、たすけあい運動募金募

集、現地ボランティアセンター（安芸教区・備後教区）開設について FAXにて通知いたしました。また、災害ボランティア登録者・団体宛に、現地ボランティアセンター（安芸教区・備後教区）開設について通知いたしました。

七月十八日（水）、教区災害対策委員会を開催。「平成三十年七月豪雨」への対応について協議を行いました。

委員会の決議に基づき、教区内全寺院ご住職様宛に、宗派たすけあい運動募金の募集、山陰教区災害義捐金の募集、現地ボランティアセンター（安芸教区・備後教区・江津市）開設について文書を発送いたしました。併せて、教化団体代表者にも文書を発送いたしました。

被災されたご寺院のご住職様から組長様を通して被災状況のご報告をいただいております。被災された皆さまへお見舞いを申しあげますとともに、今後も継続して支援活動を続けて参ります。被災されたご門徒がおられましたら、組長様を通して教務所までご報告くださいますようお願い申しあげます。

井筒法衣・仏具製造及び販売



井筒法衣店

代表取締役社長 今岡規代

●本社
600-8468
京都市下京区堀川通
新花屋町角(西本願寺前)

Tel 075-351-1234
0120-075-720

Fax 075-341-7905

●東京店
160-0008
東京都新宿区三栄町
十一番地六


Tel 03-3358-1500
Fax 03-3359-8902

京

SINCE 1705

都


印刷と出版でできること。
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。
人と向き合い、地域と向き合い一緒にってつくること。
それが私たちにできる、地域貢献のカチだと考えています。



お客様の良き相談相手になることを目指します

株式会社谷口印刷

HARVEST ハーベスト出版



二〇一七(平成二十九)年度 門徒推進員連絡協議会 実践運動研修会

二〇一八(平成三十)年三月四日(日)、本願寺山陰教堂にて、山陰教区門徒推進員連絡協議会実践運動研修会を開催しました。

ご講師の荒本由未師(大田西組西臨寺ご住職)から、「『ご親教『念仏者の生き方』に学ぶ』と題しお話しをいただきました。

また、問題提起として「門徒推進員の在り方」についてお話しいただきました。話し合い法座では八班に分かれ、日頃の考えなどそれぞれ話し合いました。

参加人数は六十四名。多数のご参加ありがとうございました。



二〇一七(平成二十九)年度地区別布教大会

大田東組 浄善寺 西原由規

平成三十年三月一日(木)・二日(金)、鳥取において山陰教区地区別布教大会が開催されました。一日は五ヶ寺を会所として、それぞれに三名の布教使が布教実演のご縁をいただき、二日は妙寂寺さまにおいて本願寺派総合研究所から西義人先生にお越しいただき、「ご親教『念仏者の生き方』に学ぶ」というテーマでお話しをいただきました。

とは「浄土真宗のご法義をいただく者はこういう生き方をしなければならぬ」ということではありません。とのご講義をいただきました。様々な方が同じく阿弥陀さまの願いを聞く中で、お育ての中にある。ああだからダメ、こうだからダメと排除されない世界であると喜ばせていただきました。

私は山陰教区の地区別布教大会に初参加、妙寂寺さまに初出講のご縁でありました。初めてお顔を合わせるご門徒さまに温かくお迎えいただき、とてもうれしい気持ちになったことを覚えています。最近、これほどにも難しいことだと感じます。少し思いをよせてみると、おおよそ社会では初めて顔を合わせる時は何かスツとはいかない距離があるような気がします。しかし、お寺では「何ともないよ、どうぞー」と受け入れてくださっているような気がします。お寺では当たり前なのかもしれませんが、とても大事なことのよう気がします。

いつだったか「大切なことを伝えるには力がある」という言葉を聞いたことがあります。ご法座が開催されるにあたり、ご住職をはじめご門徒さま、様々な方々のどれだけの苦勞があったのであろうと頭が下がる思いであります。また、そうした場に出講させていただく布教使として、「たった四十分かもしれない。でも、その四十分のためにどれだけの時間を費やし、どれだけの準備をしてきたのか」という北島清秀副団長のお言葉は、至らぬ私にとって学びとなりました。

この度のテーマ「念仏者の生き方」

この度の地区別布教大会で、今後もお聴聞を重ね、お育てに預かっていきたいと思えます。また、この素晴らしい研修会が先にも続くようにお願いいたします。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB 松江支店**

〒690-0003
松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階
TEL 0852-23-6720
FAX 0852-23-7739
営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝日休業)

近 御本山用達

株式会社 **川勝法衣店**

0120-075-055

〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入

TEL.075-371-0367 (代)

FAX.075-371-5088

青年布教使研修会に参加して

浜田組 光西寺 緋川 浄

去る三月三十日、出雲市龍善寺様にて開催された青年布教使研修会に参加しました。今回のテーマは「念

仏者の生き方」。ご門主のご親教についての意見交換や、その学びを深めるといふ内容でした。恥ずかしながら、全文を拝読したのはこの日が初めてでしたので、副団長お二人の講義を聞きながら、改めてご親教について考察したことです。

他の団員の意見や感想を聞いていくと、肯定的な意見と、やや否定的な意見がありました。学びの場ですから、疑問に思ったり今までの自分の学びと異なる点についての意見が出るのは素晴らしいことです。かく言う私も、今まで踏み込んでいなかった部分をご門主に指摘され、そんなことは今まで学んでこなかったとやや反発心の下でスタートしてしまいました。(笑)

「今までにないこと」つまり新しいことをすると、反対の意見が出るのは当たり前です。ご門主もそのことをご承知の上で、宗門内外に一石を投げられました。

そのお心を拝察いたしますに、「念

仏者の生き方」が出来ていない宗門の姿があったからなのではないかと思えます。

事実、私も住職となり自坊のあるがままの姿を見ていきますと、「念仏者の生き方」を実践なさっておられる方の少なさを痛感しております。また、私自身もできておらず、伝えられておりませんでした。

ご法話を聴いた直後には「有り難い。南無阿弥陀仏。」とお念仏がこぼれたその口が、次の瞬間には「あの人は中々お聴聞に来んされんねえ。つまらんわあ。」と悪口が聞こえてくるお寺になんて、誰が行きたがるのでしょうか？

他人のせいにはしないで、喜んで来てもらえるお寺作りを自らが進んでしなくてはならないのではないのでしょうか？

ご門主のご親教は私にとって厳しい叱咤激励でした。

「布教使として、住職として、僧侶として、このままではいけないぞ。」と心を改める、大変有難い研修会となりました。

合掌

平成三十年度山陰教区布教団総会・研修会

四月二十六日、二〇一八(平成三十)年度山陰教区布教団 総会・研修会を山陰教堂教化センターにて開催しました。

研修会では備後教区世羅組教専寺、福岡義朝師に「布教使のあり方」というテーマで講義いただき、「現代社会に求められる布教使」について聴講し協議会形式で研鑽しました。

また総会では「平成二十九年事業業・決算報告」に続いて役員改選が行なわれ、「平成三十年度事業計画(案)・予算(案)」について協議さ

れ承認されました。

昨年はインド参拝旅行を計画したところ、多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

今年度は「第四連区青年布教使研修会」(十月一日～二日)を山陰教区にて開催する予定で、青年布教使を中心に準備を進めています。

布教使を任用されておられる方で、まだ布教団に入っておられない方はぜひ入団していただきますようお願いいたします。

寺院振興金庫のご案内

宗門では、過疎過密対策の一つとして、財的支援を目的に「寺院振興金庫」が設置されています。この金庫が行う貸付・助成内容については、以下の通りとなります。ご活用をご検討の場合は、教務所もしくは寺院活動支援部(国内伝道・寺院伝道支援担当)までお問合せください。

・都市開教専従員の開教活動資金

- ・本堂新築・修復
- ・境内建物その他の施設・環境の整備
- ・寺院後継予定者就学資金
- ・資金の借換え

【助成種類】

- ・寺院の設立
- ・開教拠点の設置
- ・法座活動の支援
- ・寺院の合併・解散

【貸付種類】

- ・開教拠点の設置
- ・主たる事務所の移転
- ・従たる事務所の設置

※貸付・助成額など詳細は、宗報7月号をご参照ください。

寺族青年野球大会に参加して

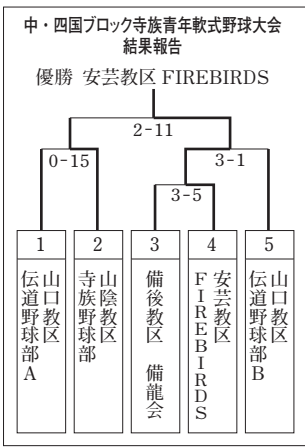
大田東組 正蔵坊 菅原 憲



島根に戻り三、四年経った三十四歳の時に、寺族青年野球部にお誘いを受け入部することとなり、早十七年が経ちました。今では壮年の域に達していますが、青年野球部に在籍させていだいております。当初から知る先輩方は、「菅原君はまだやっているのか？」と驚かれるかもしれませんが、野球経験者ではない僕が続けてこられたのも、ひとえに野球が大好きだったこと、そして何より寺族青年野球部員の方達との交流が楽しいからだと思っております。入部した当初は、怪我ばかりして皆さんにご迷惑をおかけしてりましたが、

今では身体と相談しながら月二回の練習に参加して体づくりをし、体調と都合が合う時に、若い僧侶の方、野球経験者らと交じり試合に参加させていただいています。つい、年齢を忘れ暴走をしてしまうことも多々ありますが…。

そして、野球を通して研修会とは違った教区内の僧侶との出会い、全国大会などでは、龍大生など世代を超えた僧侶の交流が何より楽しみです。時には、親子ほどの年齢の差の子達と試合をしたり、懇親会ではお酒を酌み交わすこともあります。仕事柄長期の旅行などできませんが、年に二回行われる【春に行われる中国四国大会（山陰、安芸、備後、山口、四州）と秋に行われる全国大会（京都）】試合に参加することが、今の僕の楽しみです。野球経験のない僧侶の方もぜひ参加してみませんか。まずは、月二回の練習から…。



仏壮連盟総会・研修会

二〇一八（平成三十）年六月九日（土）に本願寺山陰教堂教化センターにて山陰教区仏教壮年会連盟総会・研修会を開催しました。午前中は総会を行い、平成二十九年度の事業・決算報告、今年度の事業・予算案の承認をいただきました。

午後からは研修会を開催しました。ご講師は仏教壮年会連盟講師・大原瑞雲師。テーマは『お念仏を申す日暮』。阿弥陀さまが一緒にくださるお浄土への道を朋に歩むことでした。

今回の研修につきましては、いかに阿弥陀さまに接するかを具体的に話して頂き、日常生活における行動に対して、適切な説明を受け参加者の皆さまから充実した研修会であったとの感想を多数の方からいただきました。



連盟講師からの的確なアドバイスを頂き、今後の組活動に活かせるよう参考にしたと思います。山陰教区の仏壮の単位会は、年を重ねるごとに減少しています。人口の減少も要因の一つではありますが、最も問題視されているのが

二〇一七(平成二十九)年度
ビハラー山陰 公開講座

期 日 二〇一八(平成三十)年
三月六日(火)
会 場 出雲市民会館三〇一会議室
参加者 六十九名

この度は、龍谷大学教授・滋賀医科大学名誉教授の早島理先生をお迎えし「わたしのいのち、みんなのいのち」を考へることを考える」と題してご講話をいただきました。ビハラーの言葉の意味やホスピス・ボランティアとの違いについて、生老病死の視点から見る終末期医療について、許されて「傍らにいたい」となど、仏教学・生命倫理学を専門にしておられるお立場から貴重なお話しをしていただきました。



二〇一八(平成三十)年度
ビハラー山陰 総会・研修会

期 日 二〇一八(平成三十)年
六月十八日(月)
会 場 本願寺山陰教室
教化センター
参加者 三十二名

総会では、前年度事業・決算報告並びに監査報告、続いて役員改選を行い、今年度の事業計画・予算案を審議しました。午後からの研修会は、山本成樹先生(本願寺ビハラー医療福祉会ビハラー僧)をご講師にお迎えし「寄り添う」をテーマにご講話をいただきました。今年度は、十五年ぶりに山陰教区引き受けで第四連区研修会が開催されます。新たな役員体制のもと皆様のお力添えを頂きながら活動を進めたいと思っております。



二〇一八(平成三十)年度勤式練習所開所式
(巡讃許可申請資格試験講習会を併修)

二〇一八(平成三十)年度山陰教区勤式練習所を開催しました。五年目を迎えた今年度の勤式練習所は、巡讃資格の必要性が高まっていることもあり、「巡讃許可申請資格試験講習会指定認可制度」により、山陰教区主催の巡讃許可申請資格試験講習会を併修しています。

僧侶の方は、勤式練習所で行われる講義のうち、所定の講義①③を受講すると、巡讃許可申請資格試験を受験することができます。巡讃許可申請資格試験に合格後、本山のお辰朝に二日間出勤し、巡讃資格を得ることができます。

今年度最初の講義は、五月二十四日(木)午後一時三十分から、本願寺山陰教堂教化センターで開催しました。開所式の後、声明・御文章について小原静伍勤式指導員から講義をいただきました。続いて、午後六時からの講義では、巡讃についての講義をいただきました。勤式練習所受講の方に加えて三人、巡讃講習を受講され、資格試験に向けて学びを深められました。

今年度、勤式練習所・巡讃許可申

請資格試験講習会は、本願寺山陰教堂を会場に五回の開催を予定しています(巡讃許可申請資格試験は二月に開催)。巡讃講習については、三つの講義をそれぞれ三回開催しますので、ご都合に合わせて受講することができます。

また、九月と十月は、寺族・門信徒を対象とした内容(仏事の心得、正信偈草譜)を西部・東部の二会場で開催します。受講を希望される方は、教務所までご連絡ください。



二〇一八(平成三十)年度 御同朋の社会をめざす運動(実践運動) 山陰教区委員会(総会)

一、日 時

二〇一八(平成三十)年六月二十日(水)
午前十一時～午後二時三十分

二、会 場

本願寺山陰教堂 教化センター研修室

三、協議事項

(一) 委員構成について

① 正副委員長選出

委員長 高橋格昭教務所長

副委員長 北島清秀委員

副委員長 大草眞教委員

② 中央委員選出

中央委員 北島清秀委員

③ 部会・部員選定

事務局原案の通り承認(名簿参照)。

④ 正副部長選出

〈同朋社会部会〉

部 長 三谷卓良委員

副部長 木村雅信委員

〈寺院活動支援部会〉

部 長 西原真公委員

副部長 富金原真慈委員

〈伝道広報部会〉

部 長 菅原昭生委員

副部長 柳楽由乘委員

⑤ 常任委員選出

事務局原案の通り承認(名簿参照)。

照。

⑥ 担当者会承認

事務局原案の通り承認

(二) 今期推進計画について

二〇一七(平成二十九)年度点検報告書について承認。

山陰教区総合基本計画、山陰教区重点プロジェクトについて原案通り承認。

(三) 部会・全体会

部会ごとに今年度事業等について協議の後、報告。

〈同朋社会部会〉

・同朋社会研修会において、災害義捐金の募金箱の設置を検討する。

・平和の鐘のさらなる周知を図るため、教区報に告知記事を掲載したい。

・法名・差別問題について、何らかの啓発活動を定期的に行っていくきたい。

〈寺院活動支援部会〉

・伝道資料(紙芝居)の作成について、発表の機会を増やし意見・感想をいただきたい。

〈伝道広報部会〉

・教区ホームページについて、適切な運用方法・運用体制を引き

続き検討したい。

(四) 総括(北島副委員長)

・年度ごとの点検報告書や期ごとの総括を各部会で振り返り、達成目標を確認しながら事業推進を行っていただきたい。

・山陰教区では、過疎高齢化問題への取り組みが不可欠であると考えている。この度の実践目標は、決して子どもだけに焦点を絞るものではなく、弱い立場にいる人に対する取り組みを行うもの。今期は、貧困問題について「知る」「学ぶ」ことを、各部会で積極的に取り組んでいただきたい。

・各部会相互に関わりを持ちながら運動を進めていきたい。

(五) その他

〈事務連絡〉

・事務局から教区委員会設置規則の一部変更について報告。

〈委員からの意見・質問〉

・貧困の克服に向けた取り組みとして、教区主催の研修会を行ってほしい。その時は人数制限をせず、もつとオープンな形で開催してほしい。

↓ 教区の主催する研修会については、すべて実践運動の所掌する事業になると考えるので、今後常任委員会で検討いただきたい。「重点プロジェクト推進のための学習

「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区常任委員会名簿

自:2018年4月1日
至:2020年3月31日

組名	寺院名	実践運動委員	役職	備考
1	—	高橋 格昭	委員長	教務所長
2	神門	乗光寺 北島 清秀	中央委員・副委員長	
3	佐波	法光寺 大草 眞教	副委員長	
4	松江	西宗寺 高野 顯信	常任委員	教区会議長
5	大田西	願楽寺 藤谷 崇文	常任委員	組長会長
6	江津	西教寺 三谷 卓良	常任委員	同朋社会部部长
7	佐波	浄土寺 西原 真公	常任委員	寺院活動支援部部长
8	大田西	西楽寺 菅原 昭生	常任委員	伝道広報部部长
9	大田西	敬願寺 上田 正吉	常任委員	門徒総代会
10	大田東	常見寺 大迫五十鈴	常任委員	仏教婦人会
11	川本	福常坊 福井 春美	常任委員	寺族婦人会
12	出雲	西念寺 村上 勉	常任委員	仏教社年会
13	鳥取因幡	光輪寺 三村 善信	常任委員	門徒推進員

会」は出発点であり、研修会を積み重ねること、今後広がりを持つていくと思う。また、今年度、教化団体において、貧困問題をテーマとした研修会の開催を予定している(委員長)。

・ゲーム依存症になる子どもが増えているという話を聞いた。ゲームに没頭し社会との接点が希薄になることが懸念されている。子ども・若者ご縁づくり(キッズサンガ)との関わりも含め、こういった問題に取り組んでいくことも、寺院を開放するヒントになるかもしれない。

「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員名簿

自：2018年4月1日 至：2020年3月31日

組名	寺院名	実践運動委員	在任期間	役職・部会	備考	組名	寺院名	実践運動委員	在任期間	役職・部会	備考		
1		高橋格昭		委員長	教務所長	21	三 隅	妙蓮寺	小原静伍	1 期	伝道広報部会	勤式指導員	
2	神 門	乗光寺	北島清秀	4 期	中央委員・副委員長	推薦	22	鳥取因幡	浄徳寺	吉岡義信	1 期	伝道広報部会	組選出者
3	佐 波	法光寺	大草眞教	4 期	副委員長	組選出者	23	鳥取伯耆	妙寂寺	兜坂彰英	2 期	伝道広報部会	組選出者
4	松 江	西宗寺	高野顯信	4 期		推薦、教区会議長	24	松 江	勝願寺	舟谷幸男	4 期	同朋社会部会	組選出者
5	浜 田	林蔵寺	大賀初義	2 期	寺院活動支援部会	推薦、教区副議長	25	出 雲	龍善寺	柳樂由乘	2 期	伝道広報部会	組選出者
6	大田西	願楽寺	藤谷崇文	4 期		推薦、組長会長	26	神 門	長泉寺	三浦寛信	1 期	伝道広報部会	組選出者
7	出雲南	萬行寺	巖紀恵子	2 期	同朋社会部会	推薦、組長副会長	27	出雲南	善福寺	蘿 裕章	2 期	伝道広報部会	組選出者
8	邑智東	西林坊	澤田隆之	4 期	寺院活動支援部会	推薦、温祿対応支援員	28	飯 南	福蔵坊	高橋浩文	1 期	同朋社会部会	組選出者
9	浜 田	正念寺	目次知淨	2 期	寺院活動支援部会	推薦	29	大田東	極楽寺	福岡信隆	2 期	同朋社会部会	組選出者
10	大田西	敬願寺	上田正吉	3 期	寺院活動支援部会	門徒総代	30	大田中	浄円寺	藤本昭文	2 期	同朋社会部会	組選出者
11	大田東	常見寺	大迫五十鈴	3 期	寺院活動支援部会	仏婦	31	大田西	西楽寺	菅原昭生	4 期	伝道広報部会	組選出者
12	川 本	福常坊	福井春美	1 期	寺院活動支援部会	寺婦	32	川 本	正安寺	小笠原唯真	1 期	同朋社会部会	組選出者
13	出 雲	西念寺	村上 勉	2 期	寺院活動支援部会	仏壮	33	千 須 賀	眞浄寺	毛利孔品	1 期	同朋社会部会	組選出者
14	出 雲	源光寺	西谷正文	4 期	寺院活動支援部会	保育	34	邑智東	西福寺	小笠原宣隆	3 期	伝道広報部会	組選出者
15	鳥取因幡	光輪寺	三村善信	3 期	寺院活動支援部会	門徒推進員	35	邑智西	善教寺	服部法子	2 期	同朋社会部会	組選出者
16	江 津	西教寺	三谷卓良	2 期	同朋社会部会	ピハラー	36	江 津	蓮敬寺	富金原真慈	2 期	寺院活動支援部会	組選出者
17	佐 波	浄土寺	西原真公	2 期	寺院活動支援部会	子ども若者ご縁づくり	37	浜 田	清岸寺	服部浩明	1 期	伝道広報部会	組選出者
18	江 津	光善寺	波北 顕	3 期	寺院活動支援部会	少年	38	三 隅	浄本寺	中川正昭	2 期	伝道広報部会	組選出者
19	鹿 足	誓立寺	朋澤智弘	4 期	伝道広報部会	布教団	39	益 田	泉光寺	木村雅信	2 期	同朋社会部会	組選出者
20	邑智東	高善寺	武田正文	1 期	寺院活動支援部会	仏青	40	鹿 足	正法寺	須山成顕	2 期	同朋社会部会	組選出者

重点プロジェクト推進のための学習会

6月19日(火)午後1時30分から、本願寺山陰教堂教化センターにおいて、「重点プロジェクト推進のための学習会」を開催いたしました。教区内から70名のご参加をいただきました。

この学習会は、全教区・特区において開催されるもので、新たに策定された「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画・重点プロジェクトに基づき、ご親教『念仏者の生き方』のお心をいただき、具体的な平和貢献策として取り組む、宗門重点プロジェクトの実践目標〈ひんこん こくふく む 貧困の克服に向けて～ダーナ フォー ワールド Dāna for World Peace～〉-子どもたちを育むために-を推進することを目的としています。

はじめに、宗派重点プロジェクト推進室・宇野哲哉部長から、総合基本計画・重点プロジェクトの改訂ならびにその取り組みについての報告がありました。

続いて、浄土真宗本願寺派総合研究所・菊川一道研究員から、〈ひんこん こくふく む 貧困の克服に向けて～ダーナ フォー ワールド Dāna for World Peace～〉-子どもたちを育むために- (宗門全体で取り組む「実践目標」)について、説明をいただきました。

説明の後、高野顯信教区会議長を座長とし全体協議を行いました。

「なぜ、子どもの貧困を実践目標に掲げたのか」「各寺院ではいろいろな行事があり、なかなか時間が取れ

ない。兼業の住職も多い中、どのように取り組めば良いのか」「説明の中で、物質的な問題ばかりで心の問題が盛り込まれていないのでは」「過疎化・高齢化の中で、高齢者の貧困問題という現実もある」などのご質問・ご意見をいただきました。

宇野部長からは、「実践運動は、宗門の中心法規である宗制に書かれた目的を実現するためにあり、実践運動推進に向け、この度貧困問題への取り組みを重点プロジェクトとして掲げた」との回答がありました。また、菊川研究員からは、「例えば募金活動など、それぞれのお寺でできることから始めてほしい」「説明の中で、物理的な問題を中心に挙げたのは、専門家からの意見を踏まえたもの。とはいえ、宗教家として寄り添い、心の問題にアプローチするのは大切なこと」との回答がありました。



第四連区布教使研修会

大田中組 浄土寺 大原浩市

六月二十八日・二十九日に開催された、第四連区布教使研修会に参加いたしました。このたびは「念仏者の生き方―ご親教のお心を体して―」をテーマに、安芸教区の皆様がお世話くださり、オリエンタルホテル広島にて連区布教使一四一名が参集し、例年以上の参加者に担当教区の方々も大変喜ばれておりました。

いする方々、初めて言葉を交わす方々との交流を楽しませていただきました。二十九日には、「禅から浄土へ」を講題に、在家仏教協会理事長の菅原伸郎先生と、ケネス田中先生との対談をお聞かせいただき、とても意義のある時間を過ごさせていただきました。

二十八日には、「布教と差別―差別語とは―」を講題に、宮崎教区の登尾唯信先生にお話しをいただき、部落差別や同和問題の根深さを知らされ、自分自身の認識の甘さに気づかされました。続いて「現代化されるアメリカ浄土真宗の現状―日本の浄土真宗への参考となるか?―」を講題に、武蔵野大学名誉教授のケネス田中先生にお話しをいただきました。同じ浄土真宗でも文化や言葉の違いによって伝わり方が違い、私たちがお聞かせいただくみ教えとは少しズレがあるように感じ、各国で取次ぎをされている開教使の方々の苦勞はいかほどであろうかと考えさせられました。

連区布教使研修会は、講義もさることながら、布教使という同じ方向を向いた仲間が、交流を深めることに大きな意味があると思います。互いに研鑽し支えあう仲間づくりの大切さに気付かされます。 合掌

夜の懇親会では、久しぶりにお会



二〇一八(平成三十)年度 仏教婦人会連盟総会・研修会

期日 二〇一八(平成三十)年 五月三十一日(木)

会場 松江勤労者総合福祉センター

ター (松江テルサ)

参加者 三九二名

今年度役員改選にあたり新役員の紹介を行った後、午前の総会では、前年度事業・決算報告並びに監査報告、続いて今年度事業計画・予算案

について審議しました。

引き続き、午後からの研修会では、仏教総連盟講師の田中信勝先生をご講師に迎え「新仏教婦人会綱領のころ」と題してご講義をいただきました。この度の研修会は、先般改定されました「仏教婦人会綱領」の周知と学びを深める場とし、改定に至った経緯や背景、新たな綱領の願いについてお話しをいただきました。



仏教婦人会綱領

私たちは 親鸞聖人のみ教えに導かれて

すべての人びとの幸せを願われる阿弥陀如来のお心をいただき 自他ともに 心豊かに生きることのできる社会をめざし ともに歩みを進めます

一、お聴聞を大切にいたします
一、「南無阿弥陀仏」の輪をひろげます

一、み仏の願いにかなう生き方をめざします

2017 (平成29) 年度山陰教区一般会計歳計決算

【歳入】

經常部

款 項	29年度決算額	29年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	35,973,550	35,900,000	73,550
1 本年度賦課金	35,973,550	35,900,000	73,550
2 過年度賦課金	0	0	0
2 宗派助成金	14,799,464	14,200,000	599,464
1 宗派助成金	14,799,464	14,200,000	599,464
3 願記手数料	2,096,500	2,000,000	96,500
1 願記手数料	2,096,500	2,000,000	96,500
4 回 金	3,181,695	3,100,000	81,695
1 回 金	3,181,695	3,100,000	81,695
5 雑 収 入	2,240,631	2,100,000	140,631
1 雑 収 入	2,240,631	2,100,000	140,631
6 前年度繰越金	7,427,769	7,400,000	27,769
1 前年度繰越金	7,427,769	7,400,000	27,769
經常部合計	65,719,609	64,700,000	1,019,609

【歳入】

臨時部

	29年度決算額	29年度予算額	対比△減
1 協賛金	0	50,000	△ 50,000
1 協賛金	0	50,000	△ 50,000
2 特別協賛金	0	50,000	△ 50,000
1 特別協賛金	0	50,000	△ 50,000
臨時部合計	0	100,000	△ 100,000
歳入総計	65,719,609	64,800,000	919,609

【歳出】

經常部

款 項 目	29年度決算額	29年度予算額	対比※超過
1 教区事業費	12,589,637	13,250,000	660,363
1 総合教化企画費	2,114,038	2,300,000	185,962
1 御同朋の社会をめざす運動推進費	2,114,038	2,300,000	185,962
2 教化費	5,477,855	5,910,000	432,145
1 寺院機能振興費	793,348	900,000	106,652
2 婦人青少年費	1,234,800	1,400,000	165,200
3 総代・壮年費	300,000	300,000	0
4 研修費	1,448,920	1,400,000	※ 48,920
5 矯正福祉費	300,000	400,000	100,000
6 災害活動費	733,339	700,000	※ 33,339
7 文書伝道費	658,722	800,000	141,278
8 教化活動費	8,726	10,000	1,274
3 助成費	4,997,744	5,040,000	42,256
1 布教団助成金	350,000	350,000	0
2 各種団体助成金	405,000	440,000	35,000
3 地方教化助成費	4,242,744	4,250,000	7,256
2 会議費	1,067,550	1,220,000	152,450
1 会議費	1,067,550	1,220,000	152,450
1 教区会議費	873,350	850,000	※ 23,350
2 組長会費	160,700	300,000	139,300
3 各種会議費	13,500	50,000	36,500
4 職員会議費	20,000	20,000	0

【歳出】

經常部

款 項 目	29年度決算額	29年度予算額	対比※超過
3 教務所費	25,880,008	26,910,000	1,029,992
1 人件費	21,447,260	21,510,000	62,740
1 教務所職員俸給	13,081,800	13,100,000	18,200
2 賞与	3,007,000	3,010,000	3,000
3 退職交付金	0	0	0
4 福祉費	2,899,060	2,900,000	940
5 諸手当	2,359,400	2,400,000	40,600
6 教区勤式指導員事務費	100,000	100,000	0
2 事務費	2,845,934	3,500,000	654,066
1 通信印刷費	1,368,607	1,800,000	431,393
2 事務消耗品費	486,310	600,000	113,690
3 事務諸費	830,269	900,000	69,731
4 備品費	160,748	200,000	39,252
3 旅費	1,209,750	1,400,000	190,250
1 交通費	1,209,750	1,400,000	190,250
4 諸費	377,064	500,000	122,936
1 慶弔供養費	60,000	100,000	40,000
2 接待費	23,007	50,000	26,993
3 渉外費	100,000	150,000	50,000
4 雑費	194,057	200,000	5,943
4 回金	20,360,755	20,300,000	※ 60,755
1 回金	20,360,755	20,300,000	※ 60,755
1 山陰教堂運営費	14,120,353	14,150,000	29,647
2 事務機購入費	300,000	300,000	0
3 災害対策費	3,000,000	3,000,000	0
4 退職積立金	1,500,000	1,500,000	0
5 子ども若者推進事業費	50,000	50,000	0
6 「各種法要」積立金	1,390,402	1,300,000	※ 90,402
7 平衡資金	0	0	0
5 宗会議員選挙費	30,900	50,000	19,100
1 宗会議員選挙費	30,900	50,000	19,100
1 宗会議員選挙費	30,900	50,000	19,100
6 予備費	0	2,970,000	2,970,000
1 予備費	0	2,970,000	2,970,000
歳 出 合 計	59,928,850	64,700,000	4,771,150

【歳出】

臨時部

	29年度決算額	29年度予算額	対比※超過
1 山陰教堂回金	0	100,000	100,000
1 山陰教堂回金	0	100,000	100,000
臨時部合計	0	100,000	100,000
歳出総計	59,928,850	64,800,000	4,871,150

歳入総計	65,719,609
歳出総計	59,928,850
差引金額	5,790,759

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

「平和の鐘」の取り組みにご協力を

日時：二〇一八(平成三十)年九月十八日(火)

午後一時十五分～一時二十分

毎年九月十八日、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要では、宗門として恒久平和の願いを新たにするため、「平和宣言」を行い、「平和の鐘」を撞いています。

同日・同時刻に各寺院でも梵鐘(または喚鐘など)を撞いていただき、平和への誓いを国内外に広げる「平和の鐘」の取り組みにご協力をお願いいたします。

※詳細は、宗報七月号・本願寺ホームページをご参照ください。



第十六回世界仏教婦人会大会のご案内

二〇一九年八月二十八日(水)～

九月四日(水)の八日間の旅

テーマ：お念仏に生かされて

と き：二〇一九年八月三十日～九月一日(開催期間)

ところ：米国 サンフランシスコ市

募集人数：三十名(山陰教区) ※大会規模二〇〇〇名

※詳細は、山陰教区仏婦連盟事務局までお問合せください。

申込締切：九月二十八日(金)

行事案内 (八月～十月)

※二〇一八(平成三十)年七月

三十日現在の予定です。日程・会場が変更になることもあり
ます。

八月

二十一日(火)

午後一時三十分～

常例法座燈映会(山陰教堂)

二十六日(日) 午前十時～

仏教壮年鳥取ブロック研修会

八月二十七日(月)

午後一時三十分～

公聴会(山陰教堂)

九月

八日・九日(土・日)

得度習礼講習会(山陰教堂)

十日(月)

若寺族婦人研修会(山陰教堂)

十三日(木)

連研のための研究会(山陰教堂)

十四日(金) 午前十時～

僧侶研修会(出雲市民会館)

二十一日(金)

午後一時三十分～

常例法座燈映会(山陰教堂)

二十七日(木)

午後一時三十分～午後四時

勤式練習所(鹿足組正法寺)

十月

一日・二日(月・火)

第四連区青年布教使研修会(出雲ロイヤルホテル) ※山陰教区主催

九日(火)

仏教婦人実践運動研修会

十日(水)

特別法務員・法務員試験合格者
連絡協議会/勤式研修会
十一日・十二日(木・金)
ビハラ活動第四連区研修会(鳥根浜田ワシントンホテルプラザ)

※山陰教区主催

十一日(木)

午後一時三十分～午後四時
勤式練習所(山陰教堂)

十六日(火)

門徒総代会研修

(ビッグハート出雲)

十九日(金) 午後一時三十分～

山陰教堂報恩講

二十一日(日)

仏教壮年出雲ブロック研修会

二十七日・二十八日(土・日)

第四連区門徒推進員連絡協議会
研修会(玉造温泉松乃湯他)

※山陰教区主催

ドレミファ組

川本組実践運動の課題、展望

川本組 組長 松井紹憲

三月三十一日、JR三江線は八十八年の歴史に終止符を打ちました。午後八時十八分、川本駅のプラットホームは多くの別れを惜しむ人々の中、「川本駅最後の浜原行き最終便です。皆様長い間、三江線のご利用ありがとうございました。」と最後の汽笛を鳴らして出発しました。

大正七年、一〇〇年前は、飛行船と呼ばれるプロペラ船が江の川の輸送手段を担っていました。時代の変革の中、船から鉄道、鉄道から自動車と移動手段は変わっていきました。

これまで精進料理を提供されていた近くのお寺が、高齢のためやめたと聞きました。また、集落で行われていた神社の節分祭も、高齢のため来年を最後とするそうです。

川本町の商工会のアンケートによると、七割の商店は後継者がいない、事業の継続ができないと答えています。継承すること、これは商店だけの問題でなく寺院にとっても大きな問題です。

今から十五年前、花祭りを行うことを決定し、高さ一・五m横二mの大きな白像と台座を手作りしました。それ以降毎年四月の第一土曜日に花祭りを開催しています。多くの子供たちと桜吹雪の中で町中をパレードすると、あちらこちらで地域の皆さんが懐かしいなーと喜んでいただきました。今年の花祭り、子供たちは数人、パレードは雨で中止。継続に不安を感じながら甘茶をいただきました。

一方、高齢者施設での法話会を交代で引き受けていますが、入所者の顔ぶれは変わってもこちらはこれからも続けていける様子です。国は、人口減に対して複数の市町村が連携して取り組むことを提案しています。時代に合わせて見直すということでしょう。寺院も時代に合わせて変わっていくことが求められているのでしょうか。「うけつぐ伝統 伝えるよろこび」重い言葉です。

編集後記

四月九日には島根県西部で、震度五強の地震がありました。また七月には「平成三十年七月豪雨」により多数の被害がありました。心からお見舞い申しあげます。

先日、近くの小学二年生約三十人が、町探検でお寺にやってきました。素朴な質問に答えながら子どもたちの笑顔に癒されました。今年度から教区報担当者会に加わる、神門組長泉寺の三浦寛信と申します。若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくおねがいます。

合掌

協賛
瀬尾浩義商店

〒七三三〇八五一
広島市西区田方三丁目
九〇九一一三〇二
TEL 〇八二二七二七八四六一



ご本山の団体参拝は我が社にお任せ下さい

近畿日本ツリスト

株式会社 近畿日本ツリスト中国四国 山陰支店

〒690-0887 松江市殿町 517 アルファステイツ殿町 1F

TEL 0852-22-4893 / FAX 0852-27-8359

営業時間 10:00~17:30 (土・日・祝日休業)